

花粉症対策はリアクティブからプロアクティブへ

このコラムでは過去に何度か花粉症をとりあげています。近年は猛暑の影響か花粉の量が年々増え、花粉の飛散も春先だけでなくなっています。

本格飛散の季節前、12、1、2月は爆弾低気圧や寒波襲来といった気候変動の度に花粉が放出され、目が痒くなる人が増える印象でしたが、今年

は暖冬で大きな気候変動がなかったため、まだ飛散量が少なく、初夏の頃まで継続的に花粉が放出されるのが予想されます。空気の乾燥による痒みも加わると、痒みの症状が多彩になり、いつか

せん。

リアクティブでは抗ヒスタミン剤がよく使われますが、自覚症状が軽減されるので、アレルギー反応が本当に治つたかどうか分かりません。アレルギー反応は持続的に起こり続けることが分かっています。リアクティブでは自覚症状が軽くなる

法。これに対し、痒みが出る前から予防的に治療を始めるのをプロアクティブ療法と言います。痒みが出たから治療するのは、リアクティブ療法。これに対し、痒みが出る前から予防的に治療を始めるのをプロアクティブ療法と言います。

花粉尘は日中悪化する

ので、朝起きて自覚症状がないうちに抗ヒスタミン剤でプロアクティブ点眼開始、日中少しでも痒ければリアクティブで炎症止めと抗アレルギー点眼を追加する、これが効果的な対策です。

花粉尘は日中悪化する

ので、朝起きて自覚症状がないうちに抗ヒスタミン剤でプロアクティブ点眼開始、日中少しでも痒ければリアクティブで炎症止めと抗アレルギー点眼を追加する、これが効果的な対策です。

果的な対策です。

(院長・伊田宜史)



伊田眼科クリニック

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30							
12:30	○	○	○	○	○	○	/
15:30	○	手術	○	/	○	○	/
18:00							

【休診日】木・土曜午後
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

